

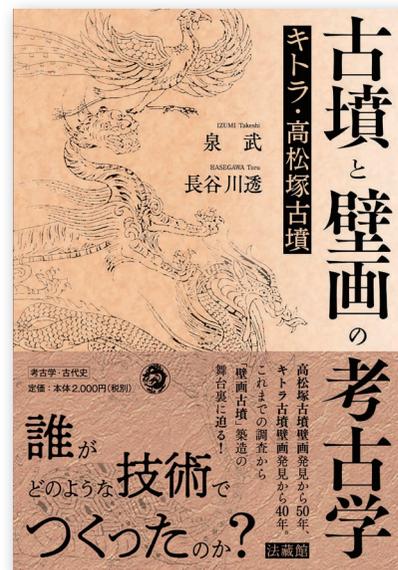
# 古墳と壁画の考古学

キトラ・高松塚古墳

泉武・長谷川透 [著]

四六判・並製・二三四頁・本体二、〇〇〇円＋税

2023年11月刊行



高松塚古墳壁画発見から50年  
キトラ古墳壁画発見から40年  
日本で二例しか確認されていない「壁画古墳」  
キトラ・高松塚古墳は、どのような技術でつくられたのか？  
これまでの発掘調査を踏まえ、  
制作の舞台裏に迫る！

口絵

プロローグ

第1章 西飛鳥の古墳とキトラ・高松塚古墳 第3章 壁画の制作と技術

(一) 古墳時代最後の前方後円墳 (一) 画師(画工)と古代寺院

——五条野丸山古墳、梅山古墳 (二) キトラ・高松塚古墳の石室規模

(二) 八角墳 (三) 両古墳壁画のモチーフ

——野口王墓古墳、牽牛子塚古墳、中尾山古墳 (四) キトラ古墳石室の構築と壁面の割付け

(三) 大型方墳——小山田古墳、岩屋山古墳 (五) 高松塚古墳石室の構築と壁面の割付け

(四) 古墳と石室の多様性 (六) 壁画の下地

——双墓(二区画二古墳)、双室墳(二墳丘二石室)、双棺墳(二石室二石棺墳) (七) 金・銀箔の産地と製造技術

(八) 顔料の種類と産地

(九) 壁画の作画技術

(五) 渡来系氏族の古墳 (一〇) 法隆寺金堂壁画との比較

——真弓鎌子塚古墳、カツマヤマ古墳、テラノ  
マエ古墳、ミッツ古墳

(六) 特殊な石室 第4章 キトラ・高松塚古墳の被葬者像

——劔拔式横口式石室と組合式横口式石室 (一) 副葬品にみえる被葬者の人物像

(二) 皇子たちの葬地

(三) キトラ古墳の被葬者

(四) 高松塚古墳の被葬者

第2章 キトラ・高松塚古墳の築造技術

(一) キトラ・高松塚古墳の築造時期

(二) 古墳の選地と造成

(三) 石材の採取と加工

(四) 石室の構築と測量技術

(五) 石室の漆喰目地留め

あとがき

## 【著者略歴】

泉武◆1951年、奈良県生まれ。立命館大学文学部卒業。高松塚壁画館学芸員。奈良県立橿原考古学研究所共同研究員、NPO法人沖繩伝承話資料センター会員。著書に、『キトラ・高松塚古墳の星宿図』『シマに生きる 沖繩の民俗社会と世界観』『沖繩学事始め』(いずれも同成社)などがある。

長谷川透◆1980年、愛知県生まれ。奈良大学大学院博士前期課程修了。独立行政法人奈良文化財研究所研究補佐員を経て、現在、明日香村教育委員会文化財課係長。著書に、『飛鳥史跡事典』(共著、吉川弘文館)、『飛鳥の考古学図録⑨ 整備された飛鳥の遺跡』(単著、明日香村)がある。

## 目次

注文書	様冊
(書店名)	ご担当
法藏館	二、〇〇〇円＋税
泉武・長谷川透 著	古墳と壁画の考古学
ISBN978-4-8318-7769-7 C0021	キトラ・高松塚古墳
お名前	お住所
お電話	お電話

ご注文は FAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入  
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458  
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

考古学・古代史